

アカンサス ニュース

創刊号 1996年(平成8) .4

アカンサスとは古代ギリシア・ローマに由来し、金沢大学の校章にも使われている植物の名称(和名「ハアザミ」)である。

「新生・金沢大学」の
スタートに当たって

学長 岡田 晃

平成8年4月、私は殊に気持ちを新たにして、新年度を迎えた。平成3年7月の「大学設置基準」の大綱化を契機として始まった「大学改革」は、この春大きな進展があった。全学の教養教育を担ってきた教養部が32年の伝統にピリオドを打ち、代わって「教養教育機構」の設置により、いままで以上に総合大学の特徴を生かした全学出動方式の教養教育を行うことができるようになったことは、私の喜びとするところである。まずは、ここまでに至った関連委員会の御努力と関係部局のご理解に対し、心から感謝申し上げたい。

また、折しも昨年度末には、旧・城内キャンパスの敷地がようやく石川県に売却され、淋しさ以上に安堵の気持ちである。

石川門前にあった伝統の標石もこのほど本部棟前に移設され、一方、4月1日には新しい「金沢大学標石」の除幕式が角間キャンパス



で行われた。これが新しい大学の顔になるのだと思うと、時代の『動き』そのものが感慨深い。

このたび、本「アカンサス ニュース」が創刊となり、「新生・金沢大学」に花を添えてくれるが、末永く愛される「グラフ広報誌」であって欲しいと考える。そのためにも、大学が内容のある生き生きとした『動き』をしていかなければならないと、更に身が引き締まる思いである。



47トンの室戸石で作らせた新しい「金沢大学標石」。第1期総合移転事業の完了を告げ、併せて金沢大学の新しいスタートの象徴でもある。
＝角間キャンパスで(4月1日撮影)



「旧・教養学部棟」が生まれ変わった「総合教育棟」の除幕式。新しい教養教育がここを中心として行われることになる。
＝角間キャンパスで(4月1日撮影)



教養部，32年の歴史に幕



昭和39年4月の文部省令改正に伴って独立した教養部は、このたび「大学改革」により、平成8年3月末をもって32年間の歴史に幕を降ろした。3月26日、全員が集まって「さよならパーティー」を開催し、名残を惜しみつつ、お互いの今後の健闘を誓い合った。

懐かしい思い出話に花を咲かせる元教養部の教職員

＝3月26日19時、北福利施設（角間）で

はせ

馳参議院議員が角間キャンパスを視察

文教委員として総合移転Ⅱ期にも関心

1月10日、参議院石川選挙区選出で文教委員でもある馳浩参議院議員が本学を訪れた。同議員は、総合意点第2期計画事業などに関して説明を受けたあと、キャンパス内を熱心に視察した。



展示資料について熱心に質問をする馳参議院議員
＝1月10日午後、資料館（角間）で



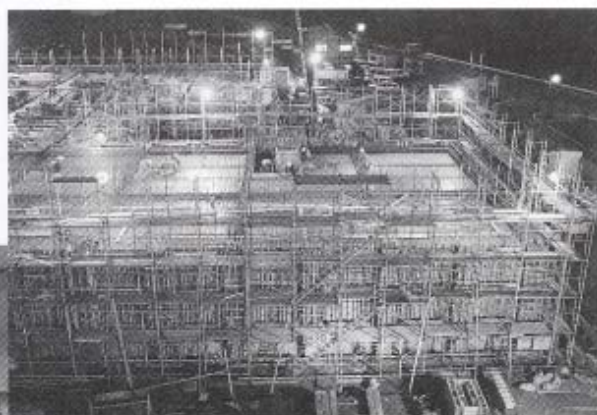
総合情報処理センター棟が竣工

この程、角間キャンパスの本部棟南側に、新しい総合情報処理センター棟が竣工した。延面積は、小立野キャンパスにあった旧センターの3倍以上となり、機器類がゆとりを持って配置された上、ラウンジや実習室（4室）なども新設された。これにより、学術研究への支援や広報処理教育の一層の推進が期待される。



学生実習を待つ40台のコンピューター

＝3月29日、第1実験室（同センター1階）で



暗くなくても続けられた工事の様子
＝平成7年12月撮影

センター外観の写真は、
裏表紙にカラーで紹介

「第3回学外有識者とのシンポジウム」開催

1月16日、大学会館（角間）において「第3回学外有識者とのシンポジウム」が、約170人の教職員の参加を得て開催された。テーマは「中核市・金沢における国立大学の役割について」。小堀附属図書館長の司会により、5人のパネラーの活発な討論が繰り広げられた。



ディスカッションするパネラーの各氏。（写真左から、中川外司・田上公民館館長、
鶴賀裕行・前金沢青年会議所理事長、坂本森男・県企画開発部長、北山繁・市都
市政策部長、西村俊道・本学事務局長）
＝1月16日午後、大学会館ホールで



平成7年度卒業式を挙る

3月25日、金沢市観光会館において、平成7年度（第44回）学位記・修了証書授与式が挙行され、2,282名の卒業生・修了生が新たな度立ちをした。

晴れ姿の卒業生の写真は、裏表紙にカラーで紹介



答辞を述べる打越学さん（医学部）
＝3月25日午前、金沢市観光会館で

学部合格者 2,121 人を発表

平成8年度の合格者として、3月8日に前期日程とA日程分 計 1,828 人が、同 22 日には後期日程分 293 人（以上合計 2,121 人）がそれぞれ発表された。発表会場では早速、サークルの勧誘合戦などが繰り広げられた。



満面笑みで胸上げされる合格者
＝3月8日10時5分、大学会館前で

新成人を祝う

1月12日、学長室で本学職員の成人祝賀式が挙行された。新成人は次の皆さん。

医学部附属病院管理課 笠原 貴子さん
" 医事課 木原 浩二さん
" " 平田志保子さん



成人となった感想を述べる木原さん（左）と平田さん
＝1月12日午後、学長室で

**「第2回特別講演会」を開催**

2月8日、角間の大学会館で、平成7年度第2回特別講演会が開催された。講師の鶴羽伸子氏（金沢ボランティア大学校長）は、地元で生きた奉仕家小野太三郎の生涯を取り上げ、140人の教職員・学生に「ボランティアの心」を伝えた。

板書を使って講演する鶴羽伸子・金沢ボランティア大学校長
＝2月8日午後、大学会館ホールで

旧・城内キャンパスで火災防御訓練

文化財防災デーの前日の1月25日、旧・城内キャンパスで広坂消防署員と本学職員による防火訓練が実施された。



訓練を行う広坂消防署員ら
＝1月25日午後、石川門横で

JST 指導者要請研修を開催

人事院との共催のJST（基本コース）指導者要請研修が2月19日から5日間の日程で、市内のホテルで実施された。同研修には、北陸地区の国立大学から課長補佐、係長、看護婦長など計16人が参加した。



熱心に受講する研修参加者
＝2月19日、ホテル六華苑で

本学へのお客さま（1月～3月）

◆オーストラリア国立大学アジア研究学部日本センター一行
＝2月16日、学生部次長室で



◆沢田敏男・前日本学術振興会会長ほか
＝2月23日、学長室で



◆ペルタニアン大学（マレーシア）副理事長ほか
＝3月1日、同上



患者さん「ハローコンサート」を満喫



日頃から熱心なボランティア活動をしている金沢市民合唱団が医学部附属病院で「新春ハローコンサート」を開催した。入院患者さんたちは、混声合唱や楽器独奏などを耳にして和やかなひとときを過ごした。

混声合唱を披露する金沢市民合唱団の皆さん
＝1月20日午後、医学部附属病院第1待合室で

留学生たちスキーで大喜び



本学の外国人留学生を対象とした「スキー講習会」が富山県の宇奈月温泉スキー場で実施された。参加した留学生のほとんどはスキーが初めてで、終日歓声を上げていた。

ゲレンデで大喜びの各国の留学生たち
＝2月27日午後、宇奈月温泉スキー場で

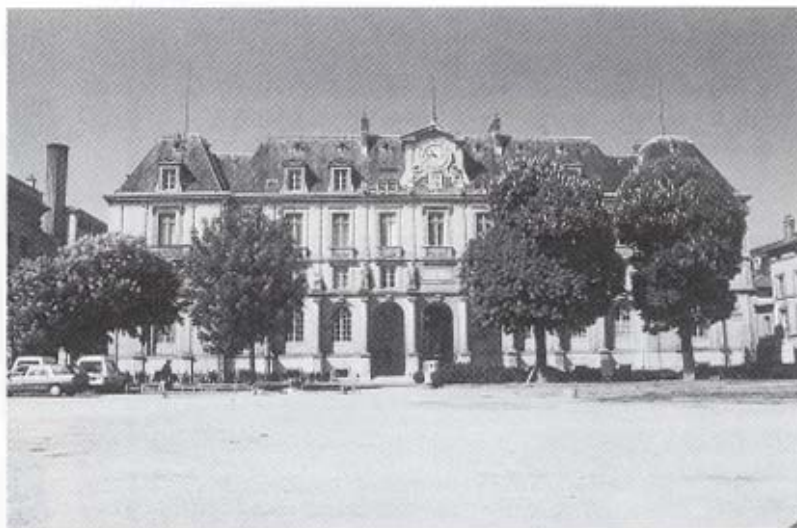


国際交流協定締結大学（その1）

第二ナンシー大学（フランス）

〔1976.9.21 協定締結〕

フランスのナンシー市は、パリ東方約280kmに位置する演劇の盛んな若者の街であり、金沢市の姉妹都市でもある。同大学は、法学部、文学部、人文科学部の3学部を有し、学生数は約22,000人。本学からはこれまでに6人（いずれも文学部から）が留学生として派遣されている。



第二ナンシー大学 法学部

（写真は、最近同大学から送付されたもの）

第二ナンシー大学法学部図書館の写真は、裏表紙にカラーで紹介



新任部局長等の紹介

平成8年1月以降、以下の方々が新しい部局長等選ばれた。

顔写真横の記載は、上から氏名・
生年月日・任期・所属の順（敬称略）

医学部長  まつだ たもつ 松田 保 昭 8.11.1 8.1.1～9.12.31 内科学第三 講座	教育学部長  かねこ しょうえい 金子 劭 榮 昭 15.1.1 8.4.1～10.3.31 発達心理学 講座	法学部長  かもの ゆきお 鴨野 幸雄 昭 12.1.18 8.4.1～10.3.31 公法講座
経済学部長  ふじた あきお 藤田 暁男 昭 9.7.19 8.4.1～10.3.31 理論・計量 経済学講座	附属図書館長  はしもと てつや 橋本 哲哉 昭 16.3.2 8.4.1～10.3.31 （経済学部） 経済史学講座	医学部附属病院長  たかしま つとむ 高島 力 昭 8.5.27 8.4.1～10.3.31 （医学部） 放射線医学講座
大学教育開放センター長  さえき のぶお 佐伯 信男 昭 6.5.17 8.4.1～9.3.31 大学教育開放 センター	学生部長  おおば よしき 大場 義樹 昭 7.11.11 8.4.1～10.3.31 （薬学部） 生物薬品科学 講座	保健管理センター長  たかもり まさはる 高守 正治 昭 8.9.15 8.4.1～10.3.31 （医学部） 精神内科学講座

このほか、文学部長に小牧純爾（^{こまきじゆんじ}任期：8.4.1～10.3.31）、理学部長に和田敬一郎（^{わだけいしろう}任期：8.4.1～10.3.31）、
総合情報処理センター長に須原正彦（^{すはらまさひこ}任期：8.4.1～10.3.31）の各氏が再選された。

編集後記

去る1月の創刊試作号の作成から三月を経て、ようやく創刊号の刊行に至った。本号では新年度にふさわしく、岡田学長の巻頭言をいただいている。学長の新たな決意表明を受けて、我々もますます努力しなければと考える。

本誌は当初オールカラーにより発行するつもりであったが、予算等などの事情もあり、とりあえずカラー刷りの2ページ、2色刷りの6ページでスタートした。それぞれの特色を生かし

た写真の割り付けなどに苦労する点も出てきたが、今後あらゆる面で試行錯誤を続けていきたい。出来栄えについて各般の率直な御批判を頂戴したいと思う。

ともかくいま願うことは、いわゆる「3号雑誌」とならないよう、発行を続けることである。「継続は力なり」を実証するためにも……。

（西村）



このページには、カラーで紹介するのに
ふさわしい写真を集めてあります



全学の期待を集めて俊立した総合情報処理センター
＝平成8年3月撮影（関連記事は3ページ）



雪にかかわらず続行された工事
＝平成7年12月撮影



荘厳なムードが漂う第二ナランシー大学（本学の国際交流協定姉妹校）の法学部
図書館内部（関連記事は6ページ）



晴れ姿の学生たち
＝3月25日撮影（関連記事は4ページ）

平成8年4月19日発行
（原則として毎月1回第3週に発行）
〒920-11 金沢市角間町
金沢大学庶務部庶務課
企画・広報係

TEL 0762-64-5014
FAX 0762-34-4010